

東大野球部メールマガジン Vol.168

ごあいさつ

新緑の美しい時期になりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

空き週を挟み行われた先週末の対法政大学戦、1回戦は序盤に先制し投手陣が粘りの投球を続けたものの、9回表の攻撃であと1本が出ず1点差で惜敗、翌日の2回戦は前日と同様粘投を見せた投手陣を打線が援護できず完封負けを喫しました。

このカードをもちまして、弊部の春季リーグ戦の日程は全て終了いたしました。苦しい場面でも常に温かいご声援をいただき、誠にありがとうございました。

秋季リーグ戦では必ずや勝ち星を挙げ、成長した姿をお見せできるよう、全敗に終わった今季の悔しさを糧に夏の練習に励んでまいります。

今後とも東大野球部をよろしくお願いいたします。

今後の日程

〈平成29年度 フレッシュリーグ〉

@明治神宮野球場

5月27日 東大 09:00 明大

28日 慶大 09:00 早大

29日 早大 11:00 明大 慶大 13:30 立大

30日 東大 11:00 早大 法大 13:30 明大

31日 明大 11:00 立大 法大 13:30 東大

※29、30、31日の試合は早慶戦の結果により、予定が変更になる可能性がございます。

今回の特集 「春季リーグ戦を振り返って」

今回の特集では、春季リーグ戦の振り返りと秋季リーグ戦に向けて今後強化・向上させたいことなどについて選手に話を聞きました。

田口 耕蔵（4年・内野手・西大和学園）

今シーズンは投打が噛み合わずに勝つことができず、苦しいシーズンでした。個人としても結果を残すことができず、とても悔しかったです。

来季は今まで先輩方が達成できなかったことを成し遂げられるよう、また、後輩に財産を残せるよう、夏の間に練習を積んでひと回りもふた回りも成長します。



山田 大成（4年・主将・内野手・桐朋）

春季リーグ戦は10敗に終わり、大変悔しさの残る結果となり、改めて六大学野球の厳しさを痛感させられました。思うように勝てない現状が焦りにつながり、結果自分達のプレーができないという悪循環がこの結果につながってしまったと思います。

秋に向けて、再度神宮でプレーできる喜びを噛み締めながら、この悔しさを二度と味わうことのないよう4年生を中心に一からチームを作り上げていき

たいと思います。今後とも変わらぬご声援の程よろしくお願い致します。



川口 寛弥（3年・投手・県長野）

2季ぶりに登板できるようにはなったものの、任されたイニングで良い結果を残すことはなかなか出来ませんでした。球威という点での単純な力量差を感じたほかに、コースと球種という投球の選択肢の少なさが狙いを絞らせやすくして勝負を不利にしているように感じました。そういった課題は試合でどう出来るものではないので今から勝負だと思って取り組んでいきます。



宇佐美 舜也（3年・外野手・桐朋）

今季は勝利をあげられず、非常に悔しいシーズンとなりました。先頭打者として十分な役割を発揮できず、チームの勝利に貢献できなかった実力不足を痛感しています。秋に向け厳しい練習に耐えてひと回り成長

し、必ずや下剋上を成し遂げたいと思います。

最後になりますが、大差がついた試合でも温かいご声援ありがとうございました。今後とも応援よろしくお願い致します。



廣納 敬太（2年・内野手・茨木）

10連敗でリーグ戦が終わり本当に悔しいです。法大1回戦では1点を争う投手戦となりましたが、打撃陣にあと1本が出ず惜敗しました。自分は代打で6試合に出場しましたが、勝負どころで1本出すことができず、力の無さを痛感しました。

秋季リーグ戦までの期間はそう長くはありませんが、日々の練習を大切に、個人としての技量を着実に向上させたいと思います。秋こそは勝ち点を取るためにチャンスで1本出せる勝負強い打者になりたいです。



編集後記

今回の特集はいかがでしたでしょうか。

春季リーグ戦の試合は終了しましたが、27、30、31日にはフレッシュリーグの試合が行われます。是非、皆様お誘いあわせの上、神宮球場にお越し下さい。

今回は「2017 ルーキー特集」と題し、今年の新入生にアピールポイントや今後の意気込みを語ってもらいます。どうぞお楽しみに！

今後とも東大野球部をよろしくお願い致します。

お問い合わせ先

〒113-0023

東京都文京区向丘 1-5-9 一誠寮

Tel&Fax 03-3811-5100

メールアドレス office@tokyo-bbc.net

メルマガについてのご意見、配信停止のご希望等

ございましたら上記連絡先までご連絡下さい。